

2023年度（令和5年） 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 西南女学院

西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・キリスト教保育を基盤とした愛と命の大切さを知る。
- ・友だちと一緒に遊んだり活動したりすることを喜ぶ。
- ・知的な好奇心と感動する心を持ち、主体的に考え行動する。

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

行事を可能な限り実施し、幼児一人ひとりの思いを大切に受け止め幼児理解に努め、主体性や協調性が身につくよう関わる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
保育の在り方	B	毎日の保育を振り返り、翌日の保育につなげたり幼児一人ひとりと丁寧に向き合ったりしながら、いろいろなことに意欲的に取り組めるように関わってきた。しかし、幼児が主体的に活動できるような環境や教材準備が完全ではなかった。
特別支援教育	A	支援計画を立て、それぞれの課題をクリアできるように関わったり、行事に関しては、それぞれの幼児が可能な範囲で参加できるように配慮したりしながら保育を行った。
安全・衛生管理	B	毎朝の戸外遊具や動線に危険物がないかの点検を行ったり、保育室内の整備を心がけたりしてきた。手洗いやうがいの徹底などで感染対策もとってきた。避難訓練は年4回実施しているが、危機管理マニュアルをもとに緊急時におけるそれぞれの役割の学びが不十分であった。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	行事を可能な限り行い様々な体験を通して、幼児の取り組む意欲が増したり、友だち関係がより深まったりそれぞれに成長に繋がる姿が見られた。しかし、自己点検・評価の結果、それぞれ教師の課題や園全体での改善点もみられた。今後は保幼小連携も見据えた保育も重視していきたい。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
環境構成	幼児の興味関心を育む環境や豊かな感性を育む環境の構成を考える。
研修・資質向上	研修に積極的に参加し保育に活かしたり、園内研修を増やしたりする。
保育計画	幼児期終わりまでに育ててほしい10の姿を踏まえた保育計画の見直しをする。

6. 学校関係者評価委員会の評価

今年度はコロナの規制がやわらぎ、保護者会バザーでの食品販売や保護者クリスマス会も復活し、幼稚園と保護者で連携をとりながら全ての行事を無事に終えることができました。感染症の流行状況に合わせて消毒を行うなど、その時ベストな方法は何かを考え対応していました。子どもたちはもちろん、今までいろいろな行事を見られなかった保護者も、とても充実した一年になりました。

先生方は、いつもあたたかく子どもたちの気持ちに寄り添い、子どもたちが主体的に取り組めるような声かけをしています。縦割り保育のよさを生かし、それぞれの年級が自分たちの役割をよく分かっているなども、子どもたちの発言を聞いていて感じました。また、今年度の年長は人数が少なく、ページェントや発表会をする際の配役決めが難しい中、子どもたちののびしろと成長を見ながら、力を伸ばしてくださいました。

今後も、子どもたちが安心して通える、あたたかい幼稚園であってほしいと願っています。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

委員会実施日

令和6年3月27日